

令和3年度若年技能者人材育成支援等事業 事業実施状況

兵庫県地域技能振興コーナー

(地域における技能振興事業)

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20 現在)
1. 技能五輪全国大会の予選の実施等	(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 全国団体からの推薦による参加職種に関して、その県内予選を実施する。 【日本料理職種、5名、4月中旬実施】 【和裁職種、5名、4月中旬実施】	(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 日本料理職種 実施日：令和3年8月24日 参加者：4名 1名が全国大会(12/18.19)に出場し金賞受賞 和裁職種：実施なし
	(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 ①技能五輪全国大会 参加選手及び指導者に対し、旅費等の援助を行う。 【日本料理・造園・電気溶接等、選手4名、指導者4名】 ②若年者ものづくり競技大会 工業高校生等の参加選手及び指導者に対し、旅費等の援助を行う。 【建築大工・木材加工等、選手10名、指導者10名】	(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 ①技能五輪全国大会 (12月) 3名 (造園・電気溶接・日本料理) ②若年者ものづくり競技大会 (8月) 10名 (木材加工・フライス盤・造園・グラフィックデザイン メカトロニクス・電気工事)
2. ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組	(1) ものづくりマイスター、ITマスター以外の熟練技能者の活用 ① イベントの実施 a) ものづくり体験教室の実施 「技能フェスタ」会場に、当協会が「ものづくり体験コーナー」を設置し、県技能士会連合会等の協力を得て、職業や内容等説明を加えながら、広く県民にもものづくりの喜び等を体験していただく。 【15職種×2回×5名×2日=300名、開催予定:10/30・31】 同様に1学期中に公共施設で小中学生を対象としたものづくり体験教室やIT体験教室を行う。 ・こべっこランド体験教室 【7職種×2回×10名×1日=140名、開催予定:7月中旬】 また、姫路市技能職団体と共催でものづくり体験教室を開催する。 【3職種×1回×10名×2日=60名、開催予定:4月4・5日】	(1) ものづくりマイスター、ITマスター以外の熟練技能者の活用 ① イベントの実施 a) ものづくり体験コーナーの実施 令和3年10月30、31日 参加者数：480名 (15職種×2回×2日) ・こべっこランド体験教室 令和3年7月22日 参加者数：96名 (6職種×2回×1日) ・姫路市技能職団体ものづくり体験教室 コロナにより中止

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20 現在)
	<p>b) トライアル・ワークショップの実施 若年技能者を対象に技能五輪のPRと課題の一部を体験し参加者の交流と熟練技能者のアドバイス等を通じて意識啓発と技能習得の課題解決を図る体験型の「技能演習会」を開催する。 【旋盤、溶接、建築大工、塗装 計4職種、開催予定:11月中旬】</p> <p>② ものづくりマイスター、ITマスター以外の熟練技能者の派遣</p> <p>a) 若年技能者の能力向上講習会 中小企業や工業高校等に対して、熟練技能者の派遣による職種毎の実技指導を行い、技能検定の受検を目指す。 【5名×10日×1校=50名】</p> <p>b) 小中学校で熟練技能者による実演、体験教室を実施し、ものづくりの理解を深める。 【1職種×10名×6校=60名】</p> <p>(2) 技能競技大会展の実施 センターや当該ブロックの幹事県と連携を図りながら、技能競技大会展の円滑な実施と広報に協力していく。</p> <p>(3) 技能土展の実施 センターや当該ブロックの幹事県と連携を図りながら、技能土展の円滑な実施と広報に協力していく。</p> <p>(4) 技能五輪全国大会を活用した技能の理解促進 実施予定なし</p> <p>(5) 「地域発!いいもの」応援事業の実施 センターが定める募集要領及び募集要項に基づき、募集の周知、対象事例の発掘を推進し、応募書類の受付・チェックを行いセンターへ提出等を行う。</p> <p>(6) グッドスキルマーク事業の実施 当協会の会報発行時やものづくりマイスター等の活動時に募集の周知を重ねる。</p>	<p>b) トライアル・ワークショップの実施 開催職種 建築大工、旋盤、溶接、金属塗装 計4職種 実施日：令和3年11月19日 参加者数：38名(12校2施設)</p> <p>② ものづくりマイスター、ITマスター以外の熟練技能者の派遣</p> <p>a) 若年技能者の能力向上講習会 期間：令和3年6月～7月 実施：1校5名</p> <p>b) 小中学校で熟練技能者による実演、 実施：3校 45名</p> <p>(2) 技能競技大会展の実施 実施なし</p> <p>(3) 技能土展の実施 実施なし</p> <p>(4) 技能五輪全国大会を活用した技能の理解促進 実施なし</p> <p>(5) 「地域発!いいもの」応援事業の実施 実施なし</p> <p>(6) グッドスキルマーク事業の実施 申請2件</p>

(ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務)

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20 現在)
1. ものづくりマイスター等の開拓	対象業種の企業・団体等に対して、文書、メール、電話、訪問等により、「ものづくりマイスター制度」を周知し、掘り起こしを行う。【18人予定】 また、ITマスターについては、県下の情報関連サービス企業や地域ICT推進協議会などと連携し、適任者を発掘し登録を働きかける。	ものづくりマイスター認定者数 6人
2. ものづくりマイスター等に対する研修	認定されたマイスター等に対して、指導技法の習得・向上のための講習を実施する。 【5回予定】	回数：2回 受講者数：3名

(ものづくりマイスター等の活用に係る業務)

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20 現在)
1. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助	関心のある企業等へ窓口及び訪問などにより、企業等への相談、情報提供を行う。また、公共訓練施設の施設借用等のための連絡調整を行う。	コーディネータによる企業訪問件数 43件
2. ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	(1) 中小企業等の在職者に対する実技指導 中小企業等に対して、技能競技大会課題や技能検定試験問題等を基にした実技指導を行う。 (ものづくりマイスター) 【10社×6名×15回】900人日 (テックマスター) 【2社×2名×10回】40人日 (2) 工業高校等の学生に対する実技指導 県下の工業高校や民間能力開発施設等の教育訓練機関に対して、技能競技大会課題、技能検定試験を活用した実技指導を行う。また、ホームページ作成等の指導を行う。 (ものづくりマイスター) 【25校×10名×10回】2500人日 (ITマスター) 【1校×20名×1回】20人日	(1) 中小企業等の在職者に対する実技指導 企業及び業界団体 19社 22コース 268人日 (2) 工業高校等の学生に対する実技指導 工業高校・専門学校 16校 33コース 1,823人日
3. 「目指せマイスター」プロジェクト	(1) 「ものづくりの魅力」発信 ① 学生生徒に対する講義 県下の小中学校、普通高校へキャラバン隊としてもものづくりマイスターを派遣し技能実演とものづくり体験によって、ものづくりの魅力を伝える。【12校×12名×5職種】720人日 ② 学校の教師を対象とした講義 上記①講義を実施する前に受講者の担任教師等へものづくりの魅力を伝える講話と実演を行う。 【3校×1名×1職種】6人日	(1) ものづくりの魅力発信 ① 学生生徒に対する講義 8校 参加者数 447人 16職種 4校 コロナにより中止 ② 学校の教師を対象とした講義 3校 参加者数 9人

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20現在)
	<p>③学生生徒の保護者等を対象とした講義 学生生徒に対する講義を実施する際に受講者の保護者を集め、ものづくりの魅力を伝える講話と実演を行う。</p> <p>【3校×5名×1職種】15人日</p>	<p>③ 学生生徒の保護者等を対象とした講義 実施なし</p>
	<p>(2) 「ITの魅力」発信 地域の教育機関関係者からの要請に基づき、学校の授業等にITマスターを派遣し、「ITの魅力」が伝わる内容の講話や実技体験等を行う。</p> <p>【2校×20名×1職種】40人日</p>	<p>(2) ITの魅力発信 実施なし</p>

(地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営)

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20現在)
1. 連携会議の設置	地方公共団体、経営者団体、労働組合組織等の関係者による連携会議を設置のうえ、本県の産業特性や就業構造等を踏まえた、本事業の推進計画の策定、進捗状況の管理などを行う。	
2. 連携会議の開催回数	2回(6月、12月)	開催回数：1回(書面開催) ※本書面により2回目を実施

(全国斉一的な事業展開)

区 分	実施計画	実施状況(2021.12.20現在)
1. 全国会議の開催等によるセンター・コーナー間の連携の強化等	センターとコーナーが密接に連携し、円滑に全国斉一的な事業展開を図るため、全国会議やブロック会議の開催等により、業務方針確認・徹底、実務ノウハウの向上・共有等を図る。	<p>(1) センター主催「全国会議」 欠席</p> <p>(2) センター主催「ブロック会議」の出席 WEB方式での開催(11月2日)</p>